







THE SEASONS



節分

「鬼の面」



組立説明書



ペーパークラフト「鬼の面」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「鬼の面」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・3ページ

クラフト A4シート×2 パーツ総数2

これは「鬼の面」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折り目をつけるためのもの) サインペン ピンセット 接着剤 指先をきれいにしておくおしぼりなど。

注意していただくこと

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

切り方

組立てに必要なパーツの番号と各シートのパーツ番号を照らし合わせながら切り取ってください(パーツの名称と番号は、各シートに記されています)。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂け目ができちゃうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折り目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作上的きまり

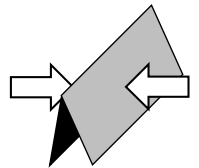
このペーパークラフトの工作方法は、全部で5種類。組立説明書とパーツシートには、各パーツごとに工作方法を示すマークが描かれてあります。下の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

パーツの記号と番号は、各シートに記されています。

工作方法の表記

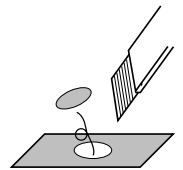
————— (実線)

この部分は山折りにしてください。(組立説明書では、∧で記されています。)



このマークがある部分は切り抜いてください。

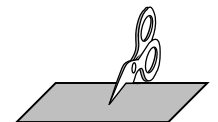
(組立説明書でも、同じマークで記されています。)



————— (白線)

このマークがついている部品には切り込みを入れてください。

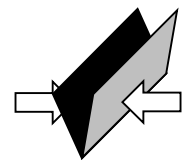
(組立説明書では、◀で記されています。)



- - - - - (破線)

この部分は谷折りにしてください。

(組立説明書では、∨で記されています。)



3 組立

各パーツを、組立図と工作方法を参考にしてください。

パーツリスト

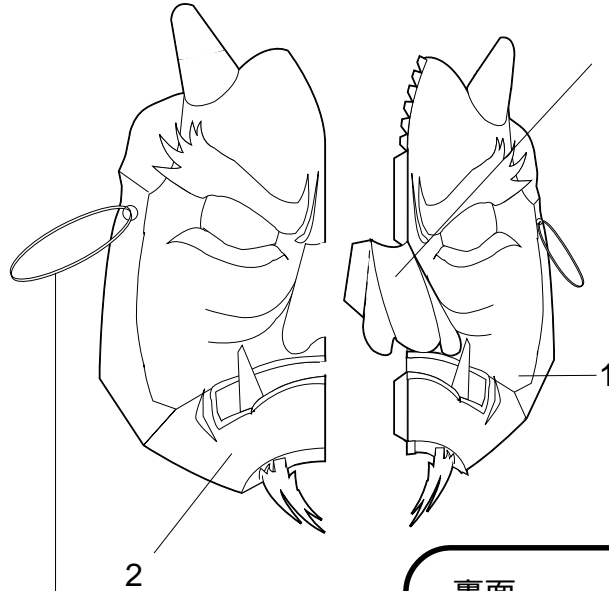
組立図

シートNo.	パーツ名	工作方法
A	面・左	△*◁▽
B	面・右	△*◁▽

『鬼』について

二月。日本の代表的な行事
といえは二月三日の節分です。
日本の家々では、節分の夜に
「鬼は外、福は内」といって
家の玄関や窓などに豆をま
きます。これは鬼を災厄の象
徴と見立て、豆をまいて家
に入れず追い払うという意
味があるのです。

各部品の取り付け位置などの参考にしてください。

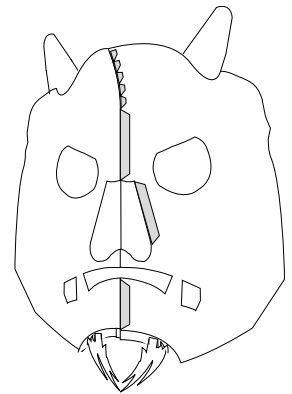


1の鼻の部分は、
丁寧に折り曲げて
のりしろを2に接
着してください。

穴をあけて輪ゴム
や紐を通すと実際
に顔に被ることが
できます。

裏面

部分が
のりしろ
になります。



4 完成

完成写真



面をかぶったところ



輪ゴムや紐を使って実際にかぶることもできます。